



Target4 安全・安心を守る 災害に強い安全・安心なまちづくり

- さらなる地域の安全・安心へ
（仮称）白石中央スマートインターチェンジ周辺に防災機能を備えた「道の駅」や「スポーツレクリエーション拠点施設」の整備に着手します。
- ハザードマップ改定に向けた取り組み
今後、宮城県から公表される「中・小河川洪水浸水想定区域」を踏まえて、ハザードマップの更新を行い、避難所や危険区域などの周知徹底を図ります。



- 地域における防災力の強化
地域における防災力の強化のために、自主防災組織への支援の継続など地域防災力の向上を目指します。

Target5 活力・賑わいを創る 人々が行き交う賑わいのあるまち

- 企業誘致の推進
企業の投資環境の回復状況を見極めながら、トップセールスを行い、本市の企業立地環境や投資環境の優位性を積極的にPRします。
- 有害鳥獣対策
野生イノシシによる農林作物への被害は大きく、昨年は野生イノシシが媒介したと推測される特定家畜伝染病「豚熱」による大きな被害が発生したことから、電気柵などへの補助を継続し、被害防止対策の強化に努めます。



- 新たな観光の形を取り入れた誘客促進
マイクロツーリズムなど豊かな自然環境や歴史的資源を活用した新たな観光の形を取り入れながら観光客の増加を目指します。

Target6 まちの未来を描く ゼロカーボンシティの実現へ

- 魅力ある都市空間の整備
市中心部の交通ネットワーク機能の強化と通学路の安全確保を図るため、都市計画道路「中河原白石沖線」の令和5年度完成に向けて、改修工事を引き続き進めます。
- 水道事業の合理化・効率化
老朽化した水道施設の耐震化や人口規模に応じた施設のダウンサイジングや統廃合を進め、施設の効率的な維持管理と更新を進めます。



- 脱炭素社会の実現に向けて
再生可能エネルギーの導入検討など、今後取り組むべき課題を整理して、令和32年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指します。

人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち
しろいしへ！

近年、国内外でさまざまな気象災害が発生しています。令和元年東日本台風は、本市において観測史上最大の降雨量を記録し、市内各所に甚大な被害をもたらしました。これから本市が目指す「カーボンニュートラルの実現」は、気候危機回避のため誰もが無関係ではなく、あらゆる主体が積極的に取り組む必要があります。

また、「（仮称）白石中央スマートインターチェンジ」とその周辺施設の早期供用開始は、新たな企業誘致や既存企業の活動支援をはじめ、中心市街地の活性化や観光振興、地域医療の充実、災害時の安全確保など、さまざまな相乗効果が期待できる「地域活性化の起爆剤」であり、地域経済の発展、市民サービス向上

の好循環創出につながるものと確信しています。

（仮称）白石中央スマートインターチェンジの整備効果を最大限享受できるよう、一般国道4号の4車線化延伸の実現とともに関係機関と連携しながら力強く推進してまいります。

最後に、公立刈田総合病院の経営健全化は、本市の財政に与える影響が非常に大きく、市民サービスに直結する大きな課題となっています。公立刈田総合病院は、本市のみならず仙南医療圏の一翼を担う重要な拠点施設です。その使命を忘れることなく仙南医療圏に1日たりとも医療の空白を生じさせることがないよう、目の前の課題に向き合い、市民の皆さんから信頼される病院であり続けるため、

経営改善に全力を傾注してまいります。

本市は「第6次白石市総合計画」の計画期間において、大きく飛躍するチャンスを手にしていきます。令和4年度は、そのチャンスを実現のものとし、将来の子どもたちに誇れる「ふるさと白石」を残すことができるよう、「第6次白石市総合計画」に掲げた「ひとづくり」「地域力の向上」「新しい価値の創造」をまちづくりの基本的視点として、シビックプライドを育むまちづくりを推進し、本市の目指す将来像「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまちしろいし」の実現を目指すとともに、本市が持続可能なまちであり続け、「選ばれたまち白石市」となるよう全力で取り組んでまいります。

※施政方針の全文は市公式ホームページに掲載しています。